

# 第 1 章 戦略策定の基本的な考え方

## 1 観光の果たす役割

### ～多彩な地域資源を生かした交流人口の拡大～

- 人口減少と少子化、高齢化が一層進行していく中、県民の誰もが安心して暮らせる青森県づくりを持続的に進めていくためには、国内外からの交流人口を拡大し、地域経済の活性化につなげていくことがより重要となります。
- 本県には、四季折々の美しい自然や情緒溢れる温泉地、豊かな大地や海が育む多種多様で高品質な農林水産品、地域に根差した生活・文化など、多彩で奥深い魅力があります。これらの魅力を生かして、本県ならではの価値を創出し、人の流れを生み出していくことが観光の大きな役割です。
- また、観光は、平和の架け橋として交流を促進し、互いの地域への理解と絆を深めるとともに、グローバルな視点等からの地域の価値の発見や再評価、国際感覚に優れた多様な人財<sup>※</sup>の育成、地域の伝統・文化等の魅力を次の世代につないでいくことなどにも貢献します。

### ～地域をけん引する基幹産業への成長～

- 観光産業は、旅行・宿泊・交通、観光客の立ち寄る飲食店や小売店はもとより、提供する食を支える農林水産業、土産品の製造・販売等に携わる商工業など、様々な分野と関連する総合産業です。
- 観光産業の振興は、地域経済の活性化に大きく寄与するとともに、地域活力の維持・向上にも資するものであり、今後、観光産業を本県の基幹産業として成長させていくことがより重要となります。

※人財：本県では「人は青森県にとっての『財(たから)』である」という基本的考えから、「人」、「人材」などを「人財」と表しています。

## 2 基本的な考え方

### ～「経済を回す」～

- 人口減少社会が本格化していく中、地域経済の活性化と地域活力の維持・向上を図るためには、「経済を回す」仕組みづくりが重要となります。
- 国内外からの交流人口を拡大し、更なる外貨の獲得<sup>※</sup>を図るとともに、観光産業を基幹産業として成長させ、多様な雇用と観光で稼ぐ人財を生み出していく必要があります。
- また、好調に推移してきた海外に目を向けると、ラグビーワールドカップ2019<sup>TM</sup>や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催による更なるインバウンド需要の創出が期待され、これまで以上に世界へ打って出る「攻めの姿勢」で取り組んでいく必要があります。

### ～世界から「選ばれる青森」～

- 本県が魅力ある旅の目的地として国内外の観光客に選ばれ、観光産業を基幹産業として成長させていくためには、県内の多様な関係者が基本的な方向性を共有することが重要となります。
- 本県の外国人延べ宿泊者数は東日本大震災前の4倍に拡大し、観光消費額も2016年には「未来へのあおり観光戦略セカンドステージ」で目標としていた1,800億円を超える1,814億円となり、2017年は1,863億円と更に増加するなど、多彩な地域資源を生かし成長する観光は、本県の強みであり、「経済を回す」取組のけん引役としての更なる成長に大きな期待が寄せられています。
- 本戦略では、観光を取り巻く状況や本県観光の現状と課題を踏まえ、概ね10年後のめざす姿とその実現に向けた方向性を共有し、幅広い分野での連携・協働を推進していくことにより、旅の目的地として世界から「選ばれる青森」となることをめざします。

※外貨の獲得：国内外からの観光客に対してサービスなどを提供する対価として、県外(国内外)からお金を稼ぐことを指しています。

### 3 戦略の性格

本戦略は、本県観光の振興に向けた県民、民間、行政の観光に携わる関係者にとっての羅針盤です。

「未来へのあおもり観光戦略セカンドステージ」(2014～2018年度)の後継となる戦略であり、「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」の基本的な方向性を踏まえ、それぞれが適切な役割分担のもとで連携・協働して取り組むための指針として、「青森県観光国際戦略推進本部※」が策定します。

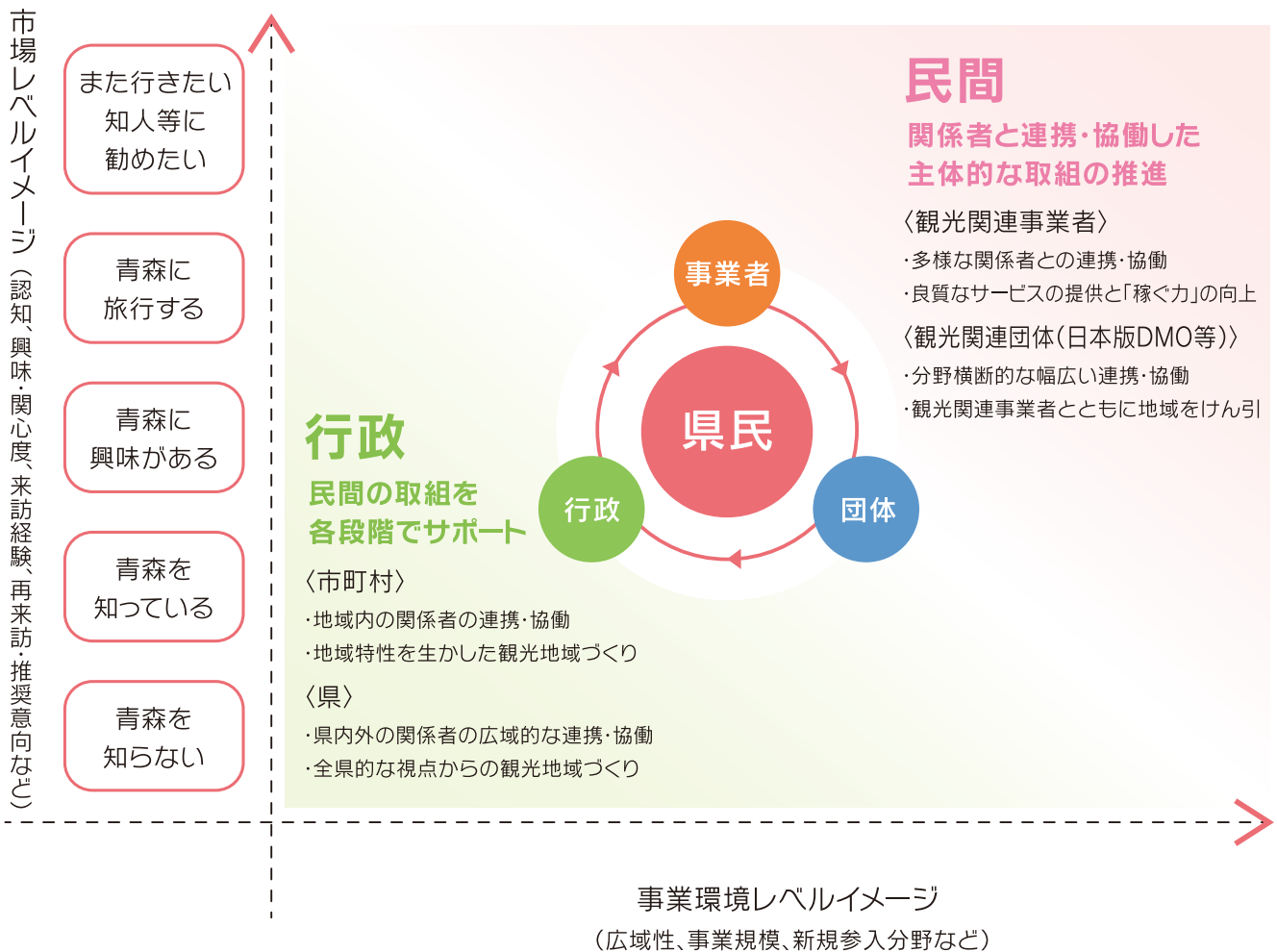
※青森県観光国際戦略推進本部: 交流人口の拡大や海外市場からの外貨獲得の取組強化に向けて、全県的な取組を推進することを目的とした民間と行政を構成員とする組織です。

### 4 役割分担

観光産業は、幅広い分野での連携・協働を通じた大きな経済波及効果が期待されます。

このため、旅行・宿泊・交通等の従来からの観光関連事業者・団体はもとより、産学金官の多様な関係者が積極的に関与していくことが重要となります。

観光が地域経済をけん引し、地域に活力を与えることができるよう、民間が主役となるとともに、県民、民間、行政のそれぞれが適切な役割分担のもとで連携・協働しながら本戦略を推進していきます。



### 5 戦略の期間

概ね10年後の本県観光の将来ビジョンを見据えつつ、その実現に向けた前期の5年間(2019～2023年度)とします。